

## 学 会 録 事

## 評議員会記事

総会提出議題審議のため、昭和47年10月11日午前10時より2時間、名古屋大学教養部化学教室会議室において開催された。

出席者 評議員：秋山 優，新崎盛敏，福島 博，今堀宏三，岩崎英雄，加崎英男，正置富太郎，中村義輝，沢田武男，瀬木紀男，谷口森俊，山田幸男，山岸高旺。会長：廣瀬弘幸。幹事：坪 由宏，榎本幸人，高橋永治，熊野 茂，高田昭典。

次の事項について協議承認された。

## 1. 報告事項

- (1) 昭和46年度庶務報告，昭和47年度庶務中間報告，第20回記念講演会計画経過報告。
- (2) 昭和46年度会計決算報告，昭和47年度会計中間報告。
- (3) 編集報告：投稿原稿掲載状況，名簿作成。
- (4) 日米ゼミナール・プロシーディング販売。

## 2. 審議事項

- (1) 次期会長候補推薦にかんして。
- (2) 昭和46年度決算，昭和47年度予算案
- (3) 索引（11巻—20巻）の発行にかんして。
- (4) 今後の編集方針にかんして。
- (5) 会費値上げ案。
- (6) 外国会員会費円建て（ドル制廃止）。
- (7) 前項(5)(6)に伴う会則改正。

## 講演会記事

創立20周年記念講演会が午後1時より5時まで、名古屋大学教養部に於て開催され

た。なお、本学会独自の講演会が開かれたのは、第11回総会（岡山），第17回総会（横浜）に続いて3度目である。講演会のプログラムは次の通り。（敬称略）

（出席者58名）

広瀬弘幸（日本藻類学会20年の歩み）

中原紘之（京大・農）褐藻類の培養研究による藻類学への貢献 植田利喜造（東大・理）電子顕微鏡観察による藻類学への貢献 黒木宗尚（北大・理）日本藻類学界の進歩と日米セミナー 香村真徳（琉大・文理）琉球列島の海藻について

## 第20回総会記事

本会第20回総会は、昭和47年10月11日午後5時より6時30分まで、名古屋大学教養部南食堂に於て開催された。会は坪 由宏幹事の開会の辞に始まり、広瀬弘幸会長の挨拶があって次の順序で議事が進められた。

I 議長選出：瀬木紀男氏が選出された。

## II 報告事項

- ① 庶務報告：昭和46年度庶務報告及び同47年度中間報告が熊野幹事よりなされ承認された。
- ② 会計報告：昭和46年度決算報告が高橋幹事よりなされ承認された。
- ③ 編集報告：昭和44年（17巻）より現在に至る間の投稿原稿の掲載状況の説明が、高田幹事よりなされ了承された。また20巻3号に名簿を掲載することに会員諸氏の協力を依頼した。
- ④ 日米ゼミナール・プロシーディングが商業ペースで丸善から販売される旨報告があった。

## 昭和47年度予算案

収入の部		支出の部	
会費 400人(450件)	550,000円	印刷費 20巻 120頁	
バック 190冊	100,000	1-3号	450,000円
利子	2,500	会員名簿(22頁)	100,000
広告代	150,000	会長選挙用名簿	10,000
小計	667,500	発送費	30,000
前年度繰越	100,087円	通信費(含バック発送)	25,000
		消耗品費	15,000
		幹事手当・謝礼	42,000
		予備費	95,587
計	767,587	計	767,587

## 昭和47年度中間報告(9月10日現在)

収入の部		支出の部	
会費 290人(418件)	425,873円	印刷費 20巻	
バック 67冊	40,140	1号(40頁)	148,450円
Index 2冊		2号(36頁)	141,500
利子	1,020	大会案内	6,800
小計	467,033	発送費	17,490
繰越金	100,087	通信費	7,630
		消耗品費	9,270
		換金手数料など	340
		幹事手当・謝礼	28,000
計	567,120	計	359,480

発送 1号 国内 455通 外国66通  
2号 479通 66通

残額 207,640

## Ⅲ 協議決定事項

1. 昭和47年度予算案が同年度中間報告と共に高橋幹事より説明され、原案通り上表のように決定した。
2. 本会20周年記念に作製を予定される

索引(11巻-20巻)は、製作費用を購入者個人負担(別会計)、本誌とは別巻にする、計画の詳細については幹事会に一任することに決定した。

3. 今後の編集方針にかんして、坪幹事

より説明があり、1巻160頁立し、必要に応じて原稿を編集幹事以外の適当な方に添削を依頼するという編集委員制度をとること、そのため投稿規定の1部変更が次のように決定した。

- イ. 表題の「投稿の注意」を「投稿規定」と改める。
- ロ. 現行2.原稿（原文1，コピー1，計2部）は簡潔に書き、……（カッコ内の部分を付加する。）
4. 会費値上げについて：投稿後1年半もたつてやっと掲載される現状を打破し、160頁程度の本誌を発行するためには値上げが避けられないとの高橋幹事の説明があり、協議のち原案通り昭和48年度より年額1,800円とすることに決定した
5. 外国会員会費は現在ドル建てであるが、外国為替相場が不安定のため、これを円建てとし為替手数料を上積みした額（2,100円）に改めることに決定した。
6. 会則の1部改正について：会費値上げに伴って現行第8条、付則第5条及び第6条を次の通り改正することに決定した。（太字の部分）

第8条 会員は毎年会費1,800円を前納するものとする。……中略……外国会員の会費は2,100円とする。

（付則）

第5条 会員が、バックナンバーを求めるときは各巻1,800円、分冊の場合は各号600円とし、非会員の予約購読料は各号900円とする。

第6条 本会則は昭和48年4月1日より施行する。

### 懇 親 会

総会終了後午後6時半より、榎本幹事の

司会で懇親会が開かれた。広瀬会長の挨拶の後地元世話人の谷口森俊氏より歓迎の挨拶があり、続いて山田名誉会長の音頭で乾杯、なごやかに会が始まった。新入会員の紹介に始まり、全員の自己紹介が行われ、最後に「藻類」13巻2号80—81頁に猪野俊平氏が紹介されていた海藻唱歌を広瀬会長のハーモニカ伴奏で、出席者全員唱和して、午後8時すぎ会を閉じた。

出席者（49名）

新崎盛敏，有賀祐勝，赤塚伊三武，浅井良紀，千原光雄，榎本幸人，古谷庫造，福代康夫，舟橋説往，原田 彰，原 慶明，早川 徹，広瀬弘幸，久島 繁，堀 輝三，石原純子，池森雅彦，糸野 洋，岩崎英雄，加崎英男，神谷 平，香村真徳，熊野 茂，黒木宗尚，小林艶子，正置富太郎，増田道夫，中村義輝，野田光蔵，大森長朗，岡本恒美，奥野春雄，岡崎恵視，小国昭信，斎藤英三，沢田武男，瀬木紀男，高橋永治，高田昭典，谷口森俊，津村孝平，坪 由宏，徳田 広，渡辺 信，山岸高曜，山田幸男，横浜康継，造力武彦。

### 新 入 会

住所変更

退 会  
田宮 博, 宮本良樹